

## The more you go out, the more you know where you're from

First of all, I would like to say that I am really proud of all 20 students that went to Thailand this year. I met some of them for the first time last year because they joined the homestay program in September. I met them all again in May and I have spent time with them from May until before departure. In the beginning I was very worried about what this trip would be like. However, all of the student's determination and willingness to go to Thailand reassured me little by little.

The trip took around 7 hours from Koge to Bangkok (2 hours by car and 5 hours by plane). I'm sure that the huge contrast between the Bangkok city view and Koge's natural scenery must have been a shock for the students. Being in Bangkok for 7 days allowed me to reconsider how I feel towards the city where I was born and raised.

During the trip I made a list of things about living in Bangkok that I never noticed until I moved and lived in Koge. I feel that the neon lights in Bangkok were extremely bright. In Bangkok, AC run all day but I feel that constantly breathing cool, filtered air from the air conditioning was uncomfortable for me. I really like spicy food. Before if you gave me 2 choices between Tom yumkung and Miso soup, I always went with Tom yumkung. But now I know how to enjoy food which is not spicy too. I know that both dishes taste good but in different way. If I never lived in Koge, I would never have noticed these things that I wrote above because I perceived those things normally back in my everyday life in Bangkok.

Most people say that travelling abroad is attractive because you can broaden your viewpoint or know more about other countries. On the contrary, by going abroad and experiencing different cultures, it can stimulate you to think differently about where you were born and raised too and it can help you to understand your hometown more. I'm sure that the students who went to Thailand this year not only learnt a lot about Thailand but will also be able to understand and appreciate their hometown in different way since they came back.

## 海外を知ることは、ふるさとの良さを 知ることに繋がる

CIR(国際交流員)ナリンヤー

まず、私は今年の友好の翼事業に参加してくれた20人の児童のことを誇りに思います。参加児童のうち何人かは、昨年9月にチュラロンコーン大学附属小学校が訪日した際に会ったことがありますが、今年の5月に初めて会った人も多くいました。最初は、心配なところもありましたが、児童がタイに行きたいという気持ちと異文化を体験したいというやる気を感じ、少しずつ安心していきました。

上毛町からタイのバンコクまでは、およそ7時間かかります。(車で2時間と飛行機で5時間)わずかに数時間で自然あふれる上毛町から大都会バンコクへ大きく景色が変わったため、児童にとっては衝撃的だったと思います。7日間の滞在で、改めて自分のふるさとのことを考えたのではないかと思います。

私は、上毛町に住むことになったからこそ気付けたことをバンコク滞在中にメモしました。バンコクの夜は、とても明るくネオンライトで目が痛いくらいです。バンコクではエアコンを常に入れておきますが、一日中エアコンの空気を吸っていると、少し不快に感じていました。私は辛いものが大好きです。以前トムヤムクンと味噌汁のどちらを飲みたいか聞かれ、迷わずにトムヤムクンと答えました。しかし、今辛いものの美味しさを分かるようになりました。どちらも美味しいですが美味しさの種類が違います。もし、私が上毛町または日本に住んでいなければ、気付かなかったことです。それはバンコクの生活が普通だと思っていたからです。

海外旅行の魅力は、他の国々を知ることで視野が広がることだと多くの人が言います。私は、海外の文化を知り、違う視点から生まれ育ったふるさとについて、見つめ直すことでさらに深くふるさとのことを理解できるのではないかと思います。今年の友好の翼事業に参加した児童は、タイのことについて知ることは、もちろん勉強になったと思いますが、それ以上に上毛町に帰ってきた時、これまでとは違う形でふるさとの良さを知ることができたのではないかと思います。



## 第16回 築上東Music-Lover's 楽雁コンサート開催のお知らせ

歌ってみまShow(生カラオケ)では、子どもたちの可愛い歌から演歌など、バラエティーに富んだ歌い手さんが集まりました。皆さんの熱唱をぜひ応援してください。(曲目:パブリカ、兄弟船 ほか)

- 日 時 11月10日(日) 14:30 開演
- 場 所 東上集会所
- 演奏曲目 みんながみんな英雄、世界のうたメドレー ほか
- 入 場 料 無料
- 主 催 築上東Music-Lover's
- 共 催 東上区会
- 後 援 上毛町教育委員会
- そ の 他 東上物産品販売(チャリティー)あります。
- 問い合わせ先 貴村 TEL 090-7478-0064

## ふくrin子育てセミナー

- 日 時 10月19日(土) 13:30~15:00
- 場 所 豊前市山田公民館
- テ ー マ 産まれてきてくれてありがとう  
~みんな違ってみんないい~
- 講 師 (一般社団法人)倫理研究所  
大出 妙子 氏
- 参 加 費 400円(テキスト代・お菓子代)
- 託 児 無料
- 問い合わせ先  
家庭倫理の会 豊前市  
丸山 TEL 090-7467-1614

## ひとり親サポートセンター 飯塚ランチ

- ひとり親家庭の方などを対象に、ハローワークと連携した就業支援や養育費相談を行っています。
- 就業支援 来所相談と出張相談(随時受付)
- 養育費相談 電話相談(離婚協議中の方もご相談ください)

### 【医療事務・調剤薬局事務(資格取得)講習会】

- 日 時 11月1日(金)~2月21日(金)  
火・金曜(30日間)  
18:30~21:00 夜間
- 場 所 行橋市役所
- 受 講 料 無料(教材費など8,000円は自己負担)
- 定 員 12名 ※託児有
- 申込締切 10月18日(金)

- 申し込み・問い合わせ先  
ひとり親サポートセンター 飯塚ランチ  
(福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所内)  
TEL 0948-21-0390

## 入賞おめでとうございます

第30回宗像総合俳句大会の表彰式がありました。町内の入賞句は次のとおりです。

### 【宗像教育委員会賞】

秋の灯や紙より白き修正液 筒井 徳子(垂水)

### 【宗像俳句作家協会賞】

とおやま ちも 遠山は夕日に燃えて麦の秋 安枝 俊子(土佐井)  
せ る おと 瀬にかかる舟の艫音や夏帽子 尾形 忍 (西友枝)

### 【特選三位】

りょくいん ひざ 緑陰や膝の子に読む「ぐりとぐら」 筒井 徳子(垂水)  
ほか特選二位2名

### 【秀逸】

こ そ ぎんじょ 鍋底の焦げ削ぎ落す残暑かな 小野 澄子(大ノ瀬)  
くんぶう 内藤 節子(成恒)  
つま よもぎもち 泥の手をはたいて夫の蓬餅 飯田勢津子(土佐井)  
ほか6名

### 【佳作】

ほてり 枯野来て胸の火照を放ちけり 中山恵美子(土佐井)  
どうけつ おきなわ き 洞穴の闇の深さや沖縄忌 秋吉美津恵(下唐原)  
ほか10名

## 第22回 昂華祭のお知らせ (大分県立工科短期大学校学園祭)

VR(バーチャルリアリティ)体験教室、モノづくり体験、ゲーム、模擬店、各種団体催し物など、たくさんのイベントを計画していますのでご来場をお待ちしております。

- 日 時 11月2日(土) 10:00~16:00  
11月3日(日) 10:00~15:00
- 場 所 大分県立工科短期大学校  
(中津市大字東浜407-27)

- 問い合わせ先  
大分県立工科短期大学校 TEL 23-5500

## 原子爆弾被害者二世に対する 健康診断の実施について

原爆被害者二世の方で希望者を対象に無料で健康診断を実施しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

- 問い合わせ先  
福岡県保健医療介護部 がん感染症疾病対策課  
難病等助成係  
TEL 092-643-3267 FAX 092-643-3331